

年末年始の「ごみ収集」と「し尿くみ取り」

●問い合わせ
役場環境保全課 環境保全係
☎096(293)3113

ご注意ください

- ① ごみ収集が休みの期間は、絶対にごみを出さないでください。
- ② 年末の「し尿くみ取り」を依頼する場合は、12月25日(水)午後5時までに、(有)日野環境 (☎096(293)2156) に連絡してください。
- ③ 個人で東部清掃工場や環境美化センターに持ち込む場合は、時間に余裕を持ってお願いします。また、搬入量に応じて処分手数料が必要な場合もあります。
- ④ ごみ搬入車両は4トン車以下に限ります。
- ⑤ 可燃性粗大ごみは金属やガラス類をはずして東部清掃工場へ搬入してください。

個人持ち込みの連絡先

- 燃やすごみ
東部清掃工場
☎096(293)5245
- 資源物・不燃・埋立ごみ
環境美化センター
☎096(293)1222

■年末年始日程表

★＝特別開放日

期日	ごみ収集	し尿くみ取り	個人持ち込み	
			燃やすごみ 可燃性粗大ごみ (東部清掃工場)	資源物 不燃・埋立ごみ 不燃性粗大ごみ (環境美化センター)
23日(月・祝)	可燃物収集 (A B地区)	休 み	★ 8:30～17:00	★ 8:30～17:00
24日(火)～27日(金)	平常どおり	平常どおり	8:30～17:00	8:30～17:00
28日(土)	休 み	平常どおり	★ 8:30～17:00	★ 8:30～17:00
29日(日)	休 み	休 み	★ 8:30～17:00	★ 8:30～17:00
30日(月)	可燃物収集 (A B地区)	休 み	★ 8:30～17:00	★ 8:30～17:00
31日(火)	可燃物収集 (C D地区)	休 み	★ 8:30～17:00	休 み
平成26年1月1日(水) ～1月3日(金)	休 み	休 み	休 み	休 み
1月4日(土)	休 み	休 み	8:30～12:00	休 み
1月5日(日)	休 み	休 み	休 み	休 み
1月6日(月)	平常どおり	平常どおり	8:30～17:00	8:30～17:00

※上記期間以外、東部清掃工場および環境美化センターは正午から午後1時までは受付を行っていません。

野焼き（屋外焼却）は禁止されています

●問い合わせ
役場環境保全課 環境保全係
☎096(293)3113

法律で定められた構造基準を満たした焼却炉を使わずに、木くず、紙くず、廃プラスチック、廃ビニールなどの廃棄物をそのまま積み上げて、穴を掘って燃やしたりすることを「野焼き」といい「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で原則禁止されています。ドラム缶やブロック積みでの焼却も野焼きと同じと見なされます。

なぜ、野焼きは禁止されたのですか？

ダイオキシン類の発生抑制と廃棄物の適正処理のためです。大量の黒煙やにおいの発生によって、近隣に迷惑をかけてしまいます。焼却する過程でダイオキシンと呼ばれる化学物質が発生することから健康への影響が心配されています。

違反するとどうなりますか？

5年以下の懲役または1千万以下の罰金（法人は1億円）もしくはその併科に処せられます。大津町でも実際に検挙された例があります。

野焼きの例外はありますか？

- 次の場合は、適正な焼却と認めています。
- ① 国、県や市町村が河川などを管理するうえで排出した刈草、切った枝などの焼却
 - ② 火災などの災害によって発生した木くずの焼却

- ③ 風俗慣習または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却（どんど焼き）
- ④ 農作業、森林管理などで行われる収穫後のつるや刈草の焼却（農業用廃ビニールの焼却は禁止されています）
- ⑤ 日常生活を営むうえで行っているたき火、キャンプファイヤーなど

野焼き禁止の例外とされた行為であっても、生活環境上支障を与え、苦情がある場合は、改善命令や各種の行政指導の対象となります。

火災と紛らわしい煙が上がる場合は、消防署へ焼却届が必要ですが、野外焼却を合法化（許可）するものではありません。



濱田重工(株)熊本工場と工場増強協定

工場増強協定調印式

10月22日、濱田重工株式会社シリコンウェハー事業部熊本工場から、再生ウェハーの品質向上などを図る再生加工ラインの増強計画が示され、大津町との企業立地協定が熊本県の立ち合いのもと締結されました。

熊本工場は、半導体業界の工程で使用されるモニターやダミーなどの用途に使用されたシリコンウェハーのリユースに向けた再生加工を行っており、日々進歩する業界に対応し、絶えず品質の向上とウェハーに関するさまざまなサービスの提供を実施しています。

ウェハーのリユースは、資源の有効活用や製造に必要なエネルギーを減らすことによるCO₂抑制につながることから国内外からニーズがあり、濱田重工は熊本とマレーシアを拠点に事業を展開しています。今回の増強により、要員も増やす計画であり、大津の地で今後も発展することが期待されます。



調印に臨む松本豊社長



左から県商工観光労働部真崎部長、濱田重工(株)松本社長、家入町長



挨拶をする家入町長

今年も大にぎわい

第15回福祉まつり

10月20日、第15回福祉まつりがオックスプラザ周辺を会場に開催されました。当日は約4,000人が来場し、福祉への理解を深めました。会場では、バザーやステージ発表が行われました。オックスプラザでは血圧測定や骨密度チェックなどが体験でき、自分の健康を振り返るきっかけとなりました。大人から子どもまで笑顔の絶えない楽しいお祭りでした。



来年の開催も楽しみです

ボランティアで地域社会に貢献

九電工大津営業所「さわやかコミュニティ旬間」

10月30日、九電工大津営業所によるボランティア活動が行われました。これは県内にある九電工の営業所がそれぞれ「さわやかコミュニティ旬間」として毎年実施しているもので、期間中は高所作業でのノウハウをいかした清掃作業など地域社会に根ざした奉仕活動を実施しています。今年は大津町でも15人が参加し、道路に張り出している樹木の枝などの伐採を行いました。



九電工大津営業所の皆さん、ありがとうございました